

平成 24 年度 放課後子ども教室運営委員会

会 議 録

日時 平成 25 年 2 月 8 日（金） 午前 10 時から

場所 清洲市民センター 303 会議室

清 須 市 教 育 委 員 会

会議出席者

氏名	職名	備考
杉村 照代	学識経験者	健康福祉部 子育て支援課主幹（保育長）
長谷川 由香利	保護者代表	2年生の保護者（清洲）
清原 典子	保護者代表	3年生の保護者（新川）
後藤 美智子	保護者代表	2年生の保護者（春日）
荻本 時男	放課後子ども教室指導員	コーディネーター（西枇杷島）
鈴木 治	放課後子ども教室指導員	コーディネーター（清洲）
舟戸 恵	放課後子ども教室指導員	コーディネーター（新川）
中田 繁美	放課後子ども教室指導員	コーディネーター（春日）
内田 敏正	教育長	清須市教育委員会
櫻井 広根	教育部長	清須市教育委員会
浅田 克幸	学校教育課長	事務局
下村 辰之	学校教育課副主幹	事務局
星野 春美	学校教育課主任主査	事務局

はじめに

学校教育課長

おはようございます。

本日は、お忙しい中、また大変寒い中、平成24年度清須市放課後子ども教室運営委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

はじめに皆様の席上に放課後子ども教室運営委員会委員としての委嘱状ということで、お一人お一人にお渡しするのが本来ではございますが、時間の関係もございますので、机上配布ということで大変失礼いたします。

本日の出席状況でございますが、次第2枚目の運営委員会名簿にございます小学校長代表で清洲小学校の校長先生にお願いしておりましたが、本日インフルエンザのためご欠席でございます。それから保護者代表で西枇杷島地区の原様、所用のためご欠席でございます。よろしくお願いたします。

それでは会議に先立ちまして、清須市教育委員会の内田教育長よりご挨拶をさせていただきます。

教育長 あいさつ

内田教育長

おはようございます。今日は大変寒い日になりました。今お話しにありましたインフルエンザが相当流行っております、清須市でも数校で学級閉鎖という事態になっております。全国的に流行しているというこ

とで危惧しているところでございます。

本日は放課後子ども教室運営委員会ということで、お集まりいただき、放課後子ども教室につきましては、先生方には一生懸命やっただいて評判がよく、人数が増えてきています。ご父兄の方には高学年も入れてやっていただけないかというようなご要望もありますが、人数の件につきまして、会場の件とかいろいろなことでお断りしている状態でございます。今4地区で開催させていただいておりますが他の地区でも開いてもらえないかというご要望もたくさんあるわけですが、学校内での開催ということで、なかなか部屋を確保できないため、本来の授業に差支えるのは本末転倒ということから、条件がそろえば開設もできますが希望はあってもなかなかご期待に添えない状態でお断りしているところでございます。放課後子ども教室ではいろいろな子がおりまして、先生方も怪我の対応などでお骨折りいただいているのが現状であります。今後どのようにしたらより良くなるだろうかということも考えながら進めて参りたいと思います。よろしく願いいたします。

議題

浅田課長

それでは議題に入ります前に、皆様方のご紹介について自己紹介の形をお願いしたいと思います。大変恐縮ですが中田先生からお願いできませんでしょうか。

中田委員

春日放課後子ども教室のコーディネーターをしています中田繁美と申します。今年で5年になります。今年は大きな怪我もなく活動できたので良かったと思っております。よろしく願いします。

舟戸委員

新川放課後子ども教室の舟戸です。よろしく願いします。

鈴木委員

清洲でお世話になっております鈴木治と申します。3年たちます。

荻本委員

西枇杷島放課後子ども教室の荻本時男です。私も3年目です。よろしく願いします。

長谷川委員

長谷川です。清洲小学校です。2年生の保護者代表です。よろしく願いします。

清原委員

新川の清原典子です。3年生の男の子の母です。よろしく願いします。

後藤委員	春日小学校の2年生の男の子の母です。よろしくお願いします。
杉村委員	子育て支援課の保育長の杉村です。よろしくお願いします。
櫻井部長	お世話になっております。教育部長の櫻井です。よろしくお願いします。
下村副主幹	学校教育課副主幹の下村です。放課後子ども教室全般を担当しております。皆様には大変お世話になっております。どうぞよろしくお願いします。
星野主任主査	学校教育課星野です。よろしくお願いします。
浅田課長	<p>最後になりましたが本日司会を務めさせていただきます学校教育課長の浅田と申します。どうぞよろしくお願いします。</p> <p>それでは、次第の3番目の議題に移らせていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>まず、本年度の実施状況ということで、放課後子ども教室全般について、担当の下村から説明をさせていただきます。そのあと各地区の指導員の先生方からご報告をいただき、そのあとご父兄の代表の方からご意見などいただきたいと思います。それでは、下村から概略を説明いたします。</p>
下村副主幹	<p>よろしくお願いします。現在清須市では、西枇杷島小学校、清洲小学校、新川小学校、春日小学校で各学校の施設をお借りしまして、放課後子ども教室を実施しております。</p> <p>放課後の子どもたちの居場所づくりとして学校内の余裕教室などを放課後子ども教室用として改良等を加えまして1年生から3年生までの児童の学習・スポーツ・遊びなどで活動していただいております。</p> <p>春日放課後子ども教室は平成20年度、新川放課後子ども教室は平成21年度から、西枇杷島と清洲は平成22年度からそれぞれ実施しております。開所時間につきましては、給食のある月曜日から金曜日まで、放課後から午後5時までとしており、土日祝日と夏休み・冬休み・春休みは開設しておりません。</p> <p>お迎えにつきましては、午後5時までには保護者の方かそれに代わる</p>

大人の方のお迎えをお願いしております。利用料は無料としておりますが、傷害保険料等のご負担分として500円をいただいております。

運営につきましては、こちらにおられます先生方と補助員の方2名ずつの3名体制でお願いしておりますが、参加者が多数に及ぶような時はもう1人増員するなどの対応をとっていただきまして、安全に行えるよう実施していただいております。

制度の定着などもございまして利用者も増加しております。お配りした資料に登録者数をお示ししましたが、年々増えており、本年度は600人を超えました。1日に100人を超える利用者がある教室もございまして、施設の許容量にも課題がある状況でございます。平成24年度は西枇杷島と春日で定員を定めて抽選会を設定しておりますが、欠席や辞退などで実質抽選をすることなく申し込み者の登録を行うことができました。

各教室の指導者の方々のご努力をいただきまして、工夫を凝らしたイベントなども交えて、子どもたちの安全な居場所づくりに努めていただいております。以上でございます。

浅田課長

それでは、各教室からご報告いただきたいと思っております。荻本先生からお願いします。

荻本委員

西枇杷島ですが3年目が終わろうとしております。毎年登録者が増えておりまして、特に今年度は保護者の要望があり、私たちは100名ぐらいで抑えたいと思っていたのですが、133名という登録者数となりました。懇談会やPTA総会などの学校の行事がありますと、最高で53名の参加者がありました。40名を超えますと靴箱とか机とかロッカーが足りない状態になってしまいますので、大変苦労したこともございます。40人入ると足の踏み場もないくらいになってしまいまして、一つしか教室が使えないものですから、特に怪我がないように、安全面には気を付けてやっておりました。

こういう状態が続いたものですから、学校にお願いして、視聴覚室やコンピューター室、さわやかプラザの多目的ホールを空いている時に使わせていただきました。さわやかプラザは現在月1回、第2木曜日に使わせてもらえることになりまして、非常に快適な環境の中で実施しております。お楽しみ会やゲーム集会を行ったり、考えるのも大変ですけども、楽しくやっております。来年度以降もぜひ使わせていただけたらと思っております。よろしく申し上げます。

それから、今教室の隣にもう1教室空けていただきました。整備がまだでございますので、4月から使えるようになると有難いなと期待しております。

参加状況につきましては、1・2学期が大変多かったです。3学期は寒くなって保護者の方のお迎えが大変ということもありまして、段々と減ってきております。今は40名を超すということはありません。

毎日の過ごし方としては、入室後30分ほどは宿題とか学習をさせて、それが終わると自由タイムということで、教室にあるいろんなゲームや遊び道具を使ったり、本を読んだり、工作をしたりして過ごしております。子どもたちは工作に大変興味を持っておりまして、工作をやりたいという声が強いので、毎月一つずつテーマを決めてモノづくりをやっていきます。また、考えるのが大変ですけどもあまりお金が使えませんので、リサイクル工作を中心に工夫してやっています。

その他の活動としては、主に5つに分けてお話をいたしますと、1つは、読み聞かせボランティアをやっている方が見えるので、月に1回その方たちに来ていただいて読み聞かせ会を行っております。2つ目として、季節の行事に合わせて、クリスマス会とかのお楽しみ会を行っております。3つ目に、月1回さわやかプラザの一室を貸していただいて、ゲーム集会やお楽しみ会などをやっております。4つ目として、地域の方を講師にお招きして活動しております。今年度は北名古屋市の方をお呼びしまして皿回し講習会をやりました。もうひとつ、しめ縄づくりを実施しています。これは毎年実施しています。5つ目にミニ映画会、月1回DVDを見せてそれに関するクイズをやって楽しんでいます。

スタッフ一同少ない予算で楽しく過ごせるよう工夫しております。参加人数が毎年増えているものですから、予算がこれ以上減ることのないようお願いしたいなと思っております。また、スタッフだけでは限りがありますので、できれば地域の方でこういうことができる講師としてやっていただける方がいらっしゃいましたら、ご紹介していただけたらうれしく思います。来年度は多少スペースも広がるのではないかと期待しております。さらに充実した活動をしなければならないと考えております。

以上です。

浅田課長

ありがとうございます。今先生から話がございました教室の件ですが、今年度中にはもう一つの空き教室を使えるように整備をさせていただいて、今までより広いスペースでお過ごしいただけるように考えておりま

すのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。
続きまして鈴木先生、お願いします。

鈴木委員

それでは、ご報告します。
資料が4ページあると思います。それをご覧いただきながら、説明させていただきたいと思います。
清洲小学校はご存知のように、すごく子どもが増加しております。950名以上いるでしょうか。その関係で登録者数も増えてきております。今年は1年生94名、2年生77名、3年生70名、合計241名が登録されております。全員が来たらとても入りきれませんが、バランスよく来ていただいております、毎日来る子もいるけれども平均週1回か2回来る子が多いということで、中には月1だけとか、登録したけれども1度も来ない子もほんの少しございます。目標は3年間変わらずに「きまりを守りましょう」「なかよく遊びましょう」「進んで学習しましょう」です。日課はどこの教室も同じだと思いますが、来てから30分間勉強や宿題をさせて、宿題の無いときは私どもで用意したプリントを1~2枚やらせております。それも早く終わる子は、本を読んでおります。だいたい30分間の学習時間ということで、その後は曜日によっていろいろ工夫したりもしております。月曜日・水曜日は、子どもたちは外で遊ぶことが好きですから、天気の良いときは運動場を借りて遊ばせております。時には清洲公園へ行ったりすることもあります。あと、月曜と水曜は1年から3年まで大勢来るものですから、月に2~3回程度はモノ作り教室を月曜日と水曜日を中心にやっております。火曜日の日は1年生が早く来るものですから、学習したあと30分間は1年生だけのグループ遊びとか集団遊びをやっております。木曜日は部活がない関係で体育館を使わせていただいております。これが子どもたちは一番好きです。一日の予定を掲示するとき、「体育館」という文字を見ると喜ぶ子もおります。金曜日は1年生2年生が早く来るので、1年生2年生でグループ遊びなどをさせております。
それから、月の第2・第3金曜日を読み聞かせの日として、3年間ずっと同じ人に来ていただいております。懇談会とか短縮とかで来所が早い日は、ビデオをレンタルしてきましてそれを観させております。人気があるのは「トムとジェリー」と「かいけつゾロリ」です。
1学期はオセロ大会、2学期は将棋大会、3学期は今囲碁大会を実施して、それぞれ学期末に表彰もしております。
2ページに今年モノづくりでどんなものを作ってきたかを紹介してい

ますが、このなかで「ボール循環マシーン」は3年生と私が中心になって作りました。「手作り動物将棋」は将棋大会をしようにも、60人くらい来る日があるものですから、30セットも使わなくてはいけないということで、とても買ってくるわけにはいかないものですから、子どもたちに手作りで将棋の駒を作らせております。将棋大会は動物将棋のほかには挟み将棋、本将棋などをしました。だいたいそのようなことを1年間でやっております。一部ですが紹介させていただきました。

それから資料の3枚目は今年の参加状況でありまして、一番多い日は夏休み前の短縮の日で、毎年同じ傾向ですが、1学期の懇談会、2学期の懇談会の日是非常に多く来ます。このような日はだいたい100人来ることを覚悟しておりますけども、一番多い日は135人も来ました。今年は100人を超える日が10回ほどございました。懇談会とか短縮授業、あるいは就学時健診、あとクリスマス会やお別れ会などの行事をやるときは沢山来ます。わかってはいるのですが、通常の日には80人超えると「今日は沢山来たな。どうしようか」ということになります。1部屋でよく入って70人。窮屈するので、子どもたちはテーブルがなく床で勉強したりするのですけれども、6～70人が限度かなと思っております。80人来ると入れません。そういうときは隣の教室が多目的教室ということで、そこを急遽お借りしてテーブルを並べて勉強させております。それが年間6～7回ありました。こういう日が一番大変です。おそらく来年、清洲小学校は児童数が増えてくと伺っているものですから、また同じことがおこるのかなと思っております。幸いにもいざというときは隣の教室をお借りできるので、大変ですが人数が増えてもなんとかクリアできるかなと思っております。平均として、1年生は33人、2年生は15人、3年生は11人ということで全体として1日の参加者は59名ですけれども、今頃は平均で50人前後かなと思います。来年も人数が増えると思うのでいろんな心配はあります。今年は、お家に戻ってから親御さんに病院に連れて行ったということがございましたが、大した怪我も無くてよかったと思います。

もう1枚は通信ですが、どこでも出していることと思っておりますが、このようなものを出しております。下段の提出用カードを今までは切り取りして出していただいております。230人～240人毎月20日前後に教頭先生を通して担任の先生から配っていただくのですが、参加していただくときに持ってきてもらうものなので、集まりません。本来は事前に集めて子どもが来る日を予測するために出すものなのですが、240人のうち月に利用する子が半分くらいなので、全く意味が無い。集

めてもしようがないものですから、来年からは行事の案内などのために出しますけども、回収はしないつもりでおります。清洲小学校は1年生について同じものを、若干形を変えて出しております。子ども教室だけではなくて児童館に行っている子がいるものですから、1年の担任の先生としましては、子ども教室に行く子と、児童館に行く子、家に帰る子をしっかりと把握しておきたいということで、参加予定カードを回収しています。そちらは100パーセント回収できます。担任の先生や学校側が把握しておれば、変更があれば連絡くださいということができませんから、我々は来た子をしっかりとお預かりすればいいと思うので、カードの取り扱いはそのようにしようと思っています。

出席の有り無しも最初はカードで確認していましたが、カードを持ってこない子、出さない子が沢山いて、カードではチェックしきれないことが判明しました。去年の6月頃からは、カードはもちろん出させますが、出欠は受付のところで名簿にチェックさせて、それによって確認しております。そのほうが早いということもありまして、正直なところ、カードケースやカードは必要ないのではないかと思います。一応決まりで出させるものですから、補助員が確認しますけれども、必要ないのではないかなと思います。私どもは来た子を確実にお預かりして、確実にお母さんにお引渡しするということができればいいのではないかと考えています。効率よくやることも考えながら、初年度とはやり方を変えていこうと考えております。また、来年は何人登録があるのかわからないのですが、今年度の運営はそのような状況です。以上です。

浅田課長

ありがとうございました。今ご説明にあったように4つの教室の中では子どもの多い教室ということで、鈴木先生には日頃から大変ご苦勞をおかけしておりますが、今のお話の中で、参加カードや参加予定表に関しては先生のおっしゃるとおりかなと思います。見直しをかけながら無駄をなくし、また参加した児童を安全にお預かりして安全に帰っていただくというのが放課後にとって必要なことだと思います。

コーディネーターの先生方、あるいは今日お越しの保護者の方からのご意見を伺いながら改善をしてみたいと考えております。後ほどご意見等を承りまして、検討をさせていただきたいと考えております。

それでは舟戸先生、お願いします。

舟戸委員

では、資料にしたがってご説明したいと思いますのでよろしくお願い致します。

まず、1枚目は、各学年の参加数の推移ということですが、私は今年度からお世話になっておりまして、昨年と比べると来室する子どもたちも登録の子どもたちも増えておるといふことで聞いております。人数が増えてきたといふことで挙げさせていただきましただけけれども、1年生の登録・参加者が多いといふことで推移しております。

1日の平均数を見ていただきますと、40人を越えた日が5月から10月と12月に多かったといふことで、新川放課後子ども教室の規模から考えると、40人くらいが適当じゃないかなと思っております。40人を越えるとやはり子どもたちを見ているのも大変で、余裕がないと感じております。

つづいて2枚目をお願いします。新川は今までに準じて、参加予定表を発行しております。そこには、教室開設日並びに参加予定表と、月の行事予定が載っております。2月ですと節分といふことで、「鬼は外、福は内ゲーム」といふものを行いました。20日から21日では「私の得意技紹介」といふことで取組ませようかなと思っております。右側には4月からの月ごとのものを載せておきました。ここを見ていただくとだいたいこんなことをやってきたのだなといふことを掴んでいただけるのではないかなと思っております。4月の段階では新1年生が5月7日から入ってくるといふことで、2・3年生でその準備をやってきました。5月のところでは新1年生の歓迎オリエンテーションをやりました。それから、「お楽しみ会」を月に1～2回ですが、普段の日課とは別に「ふれあい共通タイム」を設けております。5月は18日にスタッフによるタペストリーを使つての「赤ずきん」を行いました。6月にはゲーム大会、ドッジボールやおはじきなどを行っております。ここで計画していたマジックショーは台風の影響で延期になり、7月3日に行いました。子どもたちも大変喜んでいました。

外部の人の協力を得てなにかやっただくことは新鮮な気持ちにもなりますし、とてもいいことだと思います。7月10日から12日は小学校の懇談会ですので、参加児童が非常に増えます。そうしたところで、夏祭りのイベントとして「映画会」を行いました。どうしても子どもたちを見ている時間が多くなりますので、いろいろと工夫をしないとやっつけていけず、時間がもたないなといふことで、3日間の真ん中の日に「トムとジェリー」などを借りてきて映画会といふことで子どもたちに見せております。また、新川体育館をお借りしまして社会福祉協議会から大型のゲームの器具をお借りしまして、ストラックアウトやナインポケットターゲットなどを行いました。

9月のところですが、モノ作りに挑戦」ということで、手作りで簡単にできるおもちゃ、そうしたものができないかなということで取組み、糸電話などを作りました。

10月のところではオセロ大会をやりました。モノ作りではおもちゃ作り、ストロートンボや折り紙作りも取り入れてきました。

11月のところでは折り紙でおすもうさんなどを作りました。そして、30日には今日来ていただいている清原さんがアルトサックスの奏者でいらっしゃるので、アルトサックスとキーボードの演奏会をやっていただきました。「となりのトトロ」始め7曲やっていただき、子どもたちはとても喜んで聴いていました。

12月のモノ作りではクリスマスの飾りのちり紙のオーナメント作り、12～14日には指編みマフラー作り、これもスタッフが準備しまして、期間のなかで子どもたちはなんとか作り上げることができました。それ以降の放課後子ども教室にそのマフラーをしてくる子もおりました。

1月のところではドッジボール大会、折り紙づくり、25日にはグニャグニャ凧を作って遊びました。

次のページへめくっていただいて、放課後子ども教室だよりですが、学期に1回出すようにしております。その右側に書いてありますが1日の日課として、先程お話のあったように、基本的に最初の30分間は「静かタイム」ということで学習や本読み、そのあとが「自由タイム」ということでっております。そして先程の行事を「ふれあい共通タイム」を使って月に1～2度取組んでおります。

次のところで、1週間の予定ですと月曜日は1・2年生が早く、火曜日に1年生が早く来ます。木曜日は体育館を貸していただけるということで、体育館での活動を中心にした活動を行っております。

最後のところですが、予算で25冊の本を購入しましたので、子どもたちに少しでも本好きになってほしいということで、水曜日には1年から3年の全児童対象に、それから火曜日は1年生を対象にして、買った本を中心にスタッフのほうで読み聞かせを行っております。

そのような感じで子どもたちを見ているのですが、つい先日、耐震の手すりに座って後ろにひっくりかえってしまった子がおりました。頭部を出血したので病院で診てもらったのですが、大した怪我ではなくてよかったと思っております。とにかく、放課後に来た子どもたちを安全に過ごさせて、お母さん方にお渡しするということがやはり一番の大事なことだと思っておりますので、あらためて安全性、それから健康、

そうしたものを十分に考えて指導にあたり、子どもたちを見ていきたいなと思っております。以上です。

浅田課長

ありがとうございました。保護者の方のご協力などで様々な工夫を凝らしていただいた教室ということでお話を伺っております。今お話ありましたように、まだつい先日であります。怪我がありました。その際には先生に病院へ付き添っていただいたということで、ありがとうございました。児童の怪我が大事には至らず何よりでございます。

それでは中田先生、お願いします。

中田委員

春日放課後子ども教室の中田といいます。みなさんとだいたい同じように過ごして参りました。1年間平和に過ごすことができよかったです。春日はまず、参加者の抽選を行いました。今年も教室の広さと1日スタッフ3人ということを考えますと、登録者数はやはり100人が限度というスタッフの声が多かったので、春日は抽選が必要かなと思います。

平均をとるとそんなに沢山来る訳ではないので、全員登録を受け入れたいと思うのですが、清洲さんのように100人も来たら大変なことになるし、PTA総会や保護者会、あるいは就学時健診のある日が一番多くて、60人ぐらい来ます。60人来ますと部屋は一杯で、宿題タイムの15分間に座るところが無く、いい状態で勉強させられないと思っています。自由時間でも、雨が降った場合は外には行けないので、中に60人以上いたらとんでもないことになると思います。過去に行事のある日に雨になったことが1回だけありました。そのときは幸い体育館が使えたのでよかったのですが、PTA総会などのときに体育館が使えないということになると、雨の日に部屋の中で100人は無理と思うし、事故が想定できます。そう思うとやはり100人以上の登録は無理かなというように思っていますので、またそこを行政の方に汲んでもらって抽選をしていただきたい。前回は抽選したのですが、当日欠席された方が12人ぐらいいて、抽選に外れた方が9名くらいだったので、その人たちも参加していただくことにしました。そういうことは臨機応変に考えてもいいと思います。応募者数が100人に届かなければいいのですが、120人を超えたら、抽選をしていただきたいと思います。

私たちスタッフは今のところ8人でやっていますが、1人ずつ分担を決めて、図書の係・文房具の係・掃除の係というように分担を決めて、

掃除道具の不足や文房具の購入などについて、係の人に言えばすぐ調達できるシステムを今年から作りました。今のところ順調に行っています。

あと、月1回イベントをしまして、イベントの1ヶ月前までには必ず掲示板に掲示します。そうするとその掲示板のところに親子が立ち止まって「お母さん、ダンボールの家作りとかかいてあるから、そのときは絶対来たい」というような話をしている姿を見ると、楽しみにしてくれているのだと思って、スタッフもがんばろうという気持ちになります。

昨日のことですが、マジックショーを開催しました。インターネットで調べて、瀬戸市にあるボランティアでマジックショーをしていただける「ハットマジック瀬戸」が来て頂きました。

以上です。

浅田課長

ありがとうございました。

今、各4教室のコーディネーターの先生から日頃の状況をご報告いただいたわけですが、各教室の保護者の代表の方がお見えでございますので、日頃の感想とか何か思ってみえることがあれば、お聞かせいただけたらと思います。

長谷川委員

清洲は人数が多いなかで、いろんな工作とかもやっていただいて、ありがとうございます。また来年度もよろしくお願いします。

清原委員

私の子は1年生からお世話になっていて、家にいるより学校が大好きで、宿題もみていただけるので、家に帰っても叱らずに済むし、親と違って先生は温かく質問に答えてくれるみたいで、すごく楽しく行っています。また、体育館で遊ぶことも友達と関わるのが大好きなので、とてもいい環境を作っていただいています。お話いただいた演奏会は私が趣味でやっていることで、息子の要望もあり、3年間続けてきました。今度下の子が1年生に入りますが、がんばって演奏させていただきたいと思います。今年は保育園の役員もやっていて会議とかいろいろあったので5時を過ぎてしまうことがあったのですが、無理して預かっていただいて、感謝しています。これからもよろしくお願いします。

後藤委員

私の子は色々あって、最初の1年生のときに登録させてもらったのですが、放課後子ども教室に初めて参加した日が遅くて、11月になってようやく担任の先生に付き添っていただけて行きはじめたという現状

なのですが、1回行かせていただいたらとても楽しみになって、週に3回はお世話になっている状態です。放課後子ども教室に登録しても、うまくいく子と、ちょっと合わなくて行かない子もいると思うので、春日は抽選になるという話が多いので、いろんなお母さん達の話の聞くと、当選して全然来ない子ができれば途中で1度継続を確認して、抽選に外れた人に2次募集をかけるとか、そういうことがもしできれば有難いです。確認してもらって、枠があいたらということです。それとか、習い事とかの曜日で必ず木曜日は来ないとか、そういった子が出てくると思うので、習い事の日など確認をしていただいて、曜日で調査して確実に来る曜日を調査できたらいいかなとも思います。PTA総会とかの時は学校側も預かってもらったりすることができるので、PTA総会だけでなく、先生方が学校の教室で預かることができるようなときは、してもらいたいと思います。また、小さい子がいらっしゃるご父兄はどうしても保育園の遠足の時とかに預かってほしいものです。そういう時は学校とは関係ないので難しいかも知れないですけど、そういう年に数回ある行事のために登録している方もいる中で抽選が行われてしまい、毎日・週に何日か決まっている子が落ちてしまうのはどうかという意見もあるので、そういうところを考慮して抽選してもらえるといいかと思えます。

学校には行きたくないが放課後子ども教室には行きたいと言って自分の子は行けているくらいなので、そういう子がもっと参加できるように考えてもらえるといいです。抽選にならなければ問題ないのですが、抽選なら2次募集とかを考慮してもらえるとありがたいです。以上です

浅田課長

ありがとうございました。先程お話があったように、今まで西枇杷島地区と春日地区は抽選を実施させていただいています。西枇杷島は来年度もう1つ教室を増やすことができるので、ある程度の人数はお預かりできるかと思いますが、春日はどうしても部屋の問題があって、安全にお預かりするには上限を設けざるを得ない。抽選を実施するとなると、今のようなお話はいただいておまして、登録をするだけで1度も来ない子もあるというところで、前年度の実績を加味しながら考えるということですが、昨年は登録したけれど実際にはご家庭の事情などで参加しなかったけれども、来年は登録して来るかもしれない。去年来てないからあなたは抽選から外すということもできません。

一応ご応募をいただいて、昨年は無断でご欠席された方は棄権とみなしますということ、通知させていただいたので、定刻までにお見えになっていない方は棄権と見なして、130人近い方から当日欠席の方が

10数人いらっしゃいました。その中で最終的に109人ということで、中田先生とか当日来ていただいている方と相談して、最終的に当日抽選会場にお見えになった方は全て当選とさせていただきますお預かりすることができることになったのですが、とにかく安全に子どもさんをお預かりして、安全にお返すというのが絶対の条件です。それから抽選にあたってはご家庭の事情もあるでしょうし、そういったことでお申込みいただいた方には平等な抽選を、ということで考えております。キャパシティをもう少し大きくできればいいのですが、ご存知のように体育館の2階の部屋を利用しているということで、なかなかそこを増やすということができないものですから、学校と調整をとりながら、もし利用できる教室があれば、少しでも多くの子どもさんを受け入れられるようにしていきたいというには考えておりますので、そういったご意見があればお聞かせいただきながら、コーディネーターの先生方と相談していきたいと思っております。ありがとうございました。

本日冒頭でお話しましたように、西枇杷島の保護者の方はご欠席ですが、事前にご意見をいただいておりますので、荻本先生からご発表いただきたいと思っております。お願いします。

荻本委員

保護者の方が所用ということで来られないということなので、色々な保護者の方の意見をお伺いして纏めてきましたので、ご紹介いたします。実現には難しいところがあるかとは思いますが、一応保護者の声ということでお願いします。

「質の高い活動内容、一人ひとりへの細かい対応ありがとうございます。しかし、放課後子ども教室と児童館の児童クラブとの活動内容は大きくは変わらないように思います。家から近い放課後子ども教室に通わせたくても、時間が間に合わないから児童クラブに登録している方もあるようです。子ども教室と児童館を同じシステムにして、家から通いやすい方を選択できるようにしていただけるとありがたい。共働きの家庭が主流ですので、すべての児童が参加できるシステムにしてほしい。」ということでした。

「料金面も無料ではなく、児童館と一律でいいのではないかと。来年度から困難であれば、お迎えの時間を18時まで延長するなどを考えていただけるとありがたい。」ということでした。

「夏休み等もお弁当や宿題持参で参加できるようということも検討していただきたい。」という声もありました。

「長期休暇中や4年生以上のお子さんについてですが、4年生から部

活動が始まりますが、ない日もありますので核家族の家庭が増えているので心配があるということです。両親が共働きの場合は、長期休業中には子供たちは1日一人で過ごすことになってしまう。希望者は1年生から6年生まで帰りは学校の一斉下校と同じ時間と通常よりも早くの終了でも良いのではないかと思う。」ということでした。「名古屋市で実施されているトワイライトのように、弁当・宿題持参で参加できると安心ではないか。また、料金は有料でいいのではないか。」ということです。

「長期休業中のみ児童館に登録できるようになっておりますが、その都度仕事先に申請の書類を提出する必要があり、かなり手間なので1年に1度にしてほしい。」ということです。「児童館と放課後子ども教室は同じ条件で選択できるようにしてほしい。」という声でした。

下村副主幹

ありがとうございました。なかなか難しい課題をいただいたと思っております。現在1年生から3年生の方をお預かりしている状況で、4年生以上の方もという声がございますが、現在のところ我々としてそれは検討していない状況でございます。ただ、他の市町がどう運営しているのか、多方面の状況等も踏まえまして今後清須市としてどのような方向性が今日の放課後子ども教室に相応しいものかということを検討して参りたいと思っておりますので、今回いただいたご意見は、参考としてお伺いさせていただきまして、検討して参りたいと思います。

また、時間の延長とか休業中の実施という課題については、先生方と相談させていただき、妥当かどうかといったことも含めて検討させていただきたいと思っております。

浅田課長

放課後子ども教室と児童館ということで、ご存知の方もいるかと思いますが、放課後子ども教室は文部科学省の所管でやっております、児童館に関しては厚生労働省の所管の中でやっております。放課後子ども教室は、その名の通り放課後に子どもたちの居場所づくりというところからスタートしたと理解しております、春日が一番早くに取り入れました。県内でも早い段階で放課後子ども教室を手掛けてきた経緯があるのですが、文部科学省と厚生労働省の所管の違いもありますし、根本的な制度的なところもあり、難しいところでもあります。

ただ、こういったご要望もありますので、こういった形で保護者の方のご要望に答えていけるのかということも、こちらで勉強していかなければならない点かと思っております。制度の垣根があるところがございますが、今後私どももよりよい放課後子ども教室の運営に努力してまいりたい

と思いますのでよろしくお願い致します。

かなりの時間を、この実施状況についてコーディネーターの先生方や保護者の代表の方々からご発言いただいて進めて参りましたが、他に何かご意見等があればお聞きしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

中田委員

放課後子ども教室を作るにあたって、一番は子どものためを考えて作ったと思うのです。児童館もそうだと思うのですが、最近の親御さんたちは、親の勝手、親の都合で、子供のことよりも自分の都合で考えているようなことが多いなと感じるのですけれども、あるとき、宿題タイム15分の時に騒いでいる子を注意すると、「宿題はお家に帰ってお母さんと一緒にやりなさい。放課後でやってはいけないと言われた。」というのである時小学校の先生にそのことを話すと、「放課後に行っている子と行っていない子では全然ちがう。一生懸命漢字を教えているのに、放課後子ども教室の子は全然うまく書けない。それでお家に帰ってお母さんの目の前で、お母さんにゆったりした気持ちで教えてほしい。そうすると子どもは伸びる。だけど放課後子ども教室だと、やればいいという感じだから全然できていない。」ということでした。自分の子どもじゃないから、この時間はと決めているのだったら、ひとつひとつ子どもたちに目を配らせなければいけないな、という反省も踏まえ、ゆったり子どもに一言声をかければ、子どもは覚えてやれるようになる。けれど、放課後でやってきたからそれで終わり、寝ようということではいい子は育たないと思ったから、この先生もいろいろ考えて放課後に不満もあるだろうと思って、ミーティングでその話をしたら、「放課後は宿題を教えるところではないからいいのでは？」と言われた指導員もいたので、私たちは安全に子どもたちを見ているのが仕事だから、宿題のことよりも安全を第1に考えた方がいいと思うという意見もあったので、やっぱり家庭教育はとっても大切なことで、お母さんももうちょっと責任をもって育ててほしいというふうに思いました。

鈴木委員

我々の使命というのは、1つは学習支援ということがあるものですから、そのへんのところはしっかりやらなければいけない。あと、遊び支援もそうです。今年はアンケートをとらなかったけれども、遊び支援については100%近く親御さんも満足されております。学習支援は今の話にあるように、もう少し子ども教室で面倒を見てくれるとありがたいなどおっしゃられる方も、やはりいくらかありますね。それが現状だと思います。だけど、それは各々の家庭教育の方針であったり、色々違い

があるから、中にはもっと厳しくやってほしいという方もいる。我々はなかなか応えられないですけども、学習支援と遊び支援は使命のひとつですから、自覚しなきゃいけないなと思います。

浅田課長

鈴木先生のおっしゃるように学習支援・遊び支援ですが、限られた時間の中で、その時間を有効に活用しながら日頃から工夫をこらしてやっていただいているところ、また今のお話のように家庭教育の必要性ということで皆様方がご理解いただけるとありがたいなと思います。

非常に活発なご意見をいただいて少々時間も経ってまいりましたので、実施状況については以上で締めさせていただきます。

では2番目の25年度の放課後子ども教室についてということで、来年度にむけて、下村から御説明させていただきます。

下村副主幹

平成25年度にあたりましても本年度と同様に運営させていただきたいと思います。先生方におかれましてはいろいろご苦勞があるかと思いますがよろしくをお願いします。

募集に関しましては、さきほどからお話がありますように、春日と西枇杷島について抽選をとということですが、西枇杷島については教室を拡大することもございますので、荻本先生とまたご相談させていただきまして、抽選が必要かどうかを決めていきたいと思います。春日については抽選の方向で準備させていただくこととなります。3月中に募集をかける予定でございます。清洲と新川の新1年生は学校が始まってから学校を通じて募集の案内をしますが、春日と西枇杷島は事前にお手紙を出してお知らせしたいと思います。

去年、台風のため1日中止になった日がございました。その件で有事の際、災害の際の開催について検討してまいりますが、去年の台風で中止になった際にお配りしております災害時の開催についてのご案内をあらためてご一読いただきまして把握していただきたいと思います。

今回、いろいろと検討する材料をいくつかご提案いただいたところですけれども、25年度もしくはそれ以降に向けての課題ということで勉強させていただきたいと考えております。よろしくをお願いします。

本日はありがとうございます。

浅田課長

今、25年度ということでご説明させていただきましたが、何かございますか。

西枇杷島の定員に関しましては先生と相談させていただいて、抽選は

しなくていいかと思っておりますが、春日に関しましては例年通りの募集方法とさせていただきたいということでよろしくお願いします。

内田教育長

清洲はどんどん増えていっていますが、例えば2年生が3年生にというように順番に増えていくと考えると、3年生の70人が外れるけれども、また新しい1年生が90人ぐらいになると250人を超えてしまいますが、何人になっても受け入れていけますか。

鈴木委員

よくはないですが、対策はないかなと。抽選をやって制限も考えるのだけれど、かえって抽選をすると、枠を切るところも難しいし、仮に150人位で切ると利用率が逆に高くなるなどして、抽選したためにかえって人数が増えるのではないかという懸念もある。むしろ、あえて無制限にして親御さんの都合で子どもを預けるのが趣旨であろうと思うから、抽選を設けるべきではない。逆に制限を設けられないし、切ることが難しい。

来年、再来年もっと増えるということですが、制限を設けるのは自分としては望ましくない。大変かもしれないけれど、常時大変ではないから、今は週1回4人態勢でやっていますが、時には5人態勢でやってもいいかと、教育委員会にはその都度相談して対応したい。

内田教育長

他の地区は若干ずつ増えており、これは評判が良くて増えているということですが、清洲地区だけは実際に子どもたちが増えております。

特に花水木、土田のあたりが増えて教室も足りないようになりつつあるというところだから、児童数も毎年20人ずつぐらい増えていくと考えられる。来年250人、さらに20人増えると270人ということになっていく、心配しているところです。

後藤委員

清洲は清洲小学校でやっているのですか。清洲東小学校の子も来るのですか。

鈴木委員

清洲は体育館の2階でやっています。清洲東の子は来られません。清洲は清洲小の子だけです。

内田教育長

清洲東小学校でもやってほしいという話はあるのですが、やるスペースがない。もともと児童館が満杯で、児童館が清洲東小学校を使っている。放課後子ども教室がないから児童館がいっぱいということではない

のです。

鈴木委員

児童館のほうも多いですね。児童館も教室を借りてやっている。児童クラブが教室を借りてやっているから仕方がない。学校の教室自体が大変だと言っている。

後藤委員

登録数自体は238人あってもそれ程は来ていないですね。

鈴木委員

だいたい4分の1ぐらいで、よく来る日で60人くらいです。

後藤委員

春日は最高60人位ですよ。

浅田課長

新川の資料の一番頭のところに参加者の推移ということで月毎の数字をお示しいただいているのですが、概ね市内全体が登録者に対して25パーセントから30パーセントくらいの参加率というふうに私どもも掴んでおります。先ほどからお話にあるような、学校で行事がある時、例えば懇談会であったりPTA総会であったり、学校でなにかある時に増えて、そういうときは50パーセントになることがあります。そういうところを加味すると、昨年西枇杷島も先生が安全に預かるにはというお話がありましたが、出席率から勘案していくと一時的に多い時があるかもしれないませんが、西枇杷島にはさわやかプラザがあります。そういう他の施設を利用したりしながら、また学校とも調整をして低学年の図書室を使わせていただくなどの手段もあります。概ね25パーセントから30パーセントが平均的な参加率かというふうに掴んでいますが、登録者数との兼ね合いがある。そこを考えなければいけないのかなと思います。鈴木先生が言われたように指導者を手厚くしないと見きれない部分が出てくる。そういったところは、私どもも努力しなければいけない点ではないかと思っているところでございます。

下村副主幹

本日はいろいろご意見をいただきありがとうございました。また、コーディネーターの先生方とは25年度に向けてご相談させていただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

浅田課長

鈴木先生からお話のありました参加予定表が必要ないのではないかなというようなことがございますので、参加者カードも含めましてコーディネーターの先生と相談をさせていただいてどのように25年度の運用を

していったらよりスムーズな運営ができるのか、先生方とご相談したい
と思います。よろしくお願いします。

総括で何かございますか。

では、長時間にわたりましてありがとうございました。本日いただき
ましたご意見などを参考にさせていただきまして、より良い清須市放課
後子ども教室を運営して参りたいと思います。どうぞ今後ともよろしく
お願いいたします。どうもありがとうございました。

一同

ありがとうございました。

以上